平成30年度
由布市第二次総合計画
重点戦略プラン　実績概要（完成版）

総合政策課

第二次総合計画（基本構想）と重点戦略プランの関連性

基本構想	プラン名	取組名
みんなで進める！ 持続可能なまちづくり	プラン1 地域防災力強化プロジェクト	自主防災組織活性化推進事業
		地域防災リーダー（防災士）育成事業
		訓練実施推進事業
		防災教育推進事業
	プラン2 みんなで守り育てる公共交通活性化プロジェクト	コミュニティバス利便性向上・合理化事業
		新たな交通モードによる持続可能な公共交通創出事業
		まちづくりと公共交通の一体化事業
	プラン3 “市民が主体！！”コミュニティ活性化プロジェクト	地域コミュニティ形成促進事業
		地域ビジョンの作成・実現事業
		いろんな団体とやってみよう！交流・連携事業
一人ひとりの力を 活かせるまちづくり	プラン4 地域へ飛び出せ！健康マイレージプロジェクト	健康マイレージ対象拡大事業、応募者数増加
		地域で活躍支援事業
人や文化を育む まちづくり	プラン5 子どもたちを包み込む支えあい・助けあいプロジェクト	家族ふれあい推進事業
		子どもの居場所づくり事業
		市民総子育て事業
	プラン6 『由布の学び』創造プロジェクト	地域と協働した学校づくり推進事業
		郷土学習の推進事業
		地域・家庭の教育力向上事業
経済の循環から 地域が潤うまちづくり	プラン7 食からはじめる健康づくり。食と農の再発見プロジェクト	由布市産食材PR事業
		学校給食地産地消拡大事業
		食農教育推進事業
	プラン8 次世代につなげよう、持続可能な仕事づくりプロジェクト	移住就労者受入促進事業
		「農ある暮らし」仕事づくり事業
		由布市継業支援事業
	プラン9　滞在型・循環型保養温泉地実現プロジェクト	観光受入環境基盤整備の取組
		観光情報発信の組織体制確立及び一元化の取組
		観光人材育成の取組
豊かな環境の中で 快適な暮らしが 実感できるまちづくり	プラン10 民官学の協働による豊かな水環境創出プロジェクト	調査研究事業
		環境学習事業
		モデル事業
地域を知り、 表現するまちづくり	プラン11 由布ならではの移住・定住プロジェクト	定住及び移住推進事業
		空き家利用による移住・定住化事業
		移住者受け入れ整備事業
	プラン12 地域プロモーション推進プロジェクト	地域の魅力の再発見・共有
		戦略的プロモーションの基盤整備
		戦略的プロモーションの試行
	プラン13 ゆふツーリズム推進プロジェクト	ツーリズムの企画、実施、広報、評価
		ツーリズムに関する調査
		市民の地域表現力の向上

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要

重点戦略プラン
1

地域防災力強化プロジェクト

総合計画　重点戦略プラン　6～7頁

1.重点事業

（　防災安全　）　課

事業名	**地域防災推進事業**（重点・総合）
決算額	8,409千円（市費：8,409千円）

【主な取組】
自主防災組織の設立・育成を推進、併せて防災士配置自治区を増やすよう、講習会等を開催。 自主防災組織資機材整備補助金については3自治区

連携

（　消防本部　）　課

事業名	**非常備消防活動推進事業**（総合）
決算額	67,931千円（市費：61,311千円）

【主な取組】
消防団活動（火災等の災害出動や、定期訓練等）を実施。
H30年度中に消防施設（ポンプ・防火水槽等整備を18件実施

連絡調整　　連絡調整

（各地域振興課）

・自主防災組織の設立の啓発・防災士の資格取得促進に係る啓発
・各地域消防団の連絡調整及び地域消防団活動の支援/資機材整備等の集約等
・各自治区からの防災訓練要望に関し、実施に向けた地元関係者・地元消防団・関係機関との調整

2.その他の事業

（　防災安全　）　課

事業名	**防犯体制確立事業**（総合）
決算額	6,900千円（市費：6,900千円）

【主な取組】
防犯パトロールを年間38回実施、少年補導員の活動（年間：177日）や自治区防犯灯設置補助金の交付等を実施
挟間：25件　庄内：3件　湯布院：9件

イメージ

3.成果指標

指標名	直近値（H26）	目標値	実績値	対象事業名	担当課	関係課
自主防災組織数	119組織	150組織（H30）	H28：64組織 H29：64組織 H30：54組織	地域防災推進事業	防災安全課	地域振興課 消防本部
防災士配置自治区数	69地区	150地区（H30）	H28：82地区 H29：85地区 H30：98地区			
防災訓練・研修回数	50回	150回（H32）	H28：50回 H29：50回 H30：44回			
防災教育回数	2回	4回（H32）	H28：5回 H29：5回 H30：10回			

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要

重点戦略プラン 2

みんなで守り育てる 公共交通活性化プロジェクト

総合計画　重点戦略プラン　10～11頁

1.重点事業

（　総合政策　）課

事業名	**地域公共交通事業**（重点・総合）
決算額	55,481千円（市費：34,799千円）
【主な取組】 コミュニティバス運行を委託（32路線））・地域公共交通網形成計画を策定・各種公共交通関連の法定・任意会議の運営を実施。	

事業の申請・承認 → 地域公共交通会議（国・県・交通事業者　）

事業への意見反映 → 市民交通対策検討委員（　自治委員・関係団体・公募委員　）

2-1.その他の事業

（　防災安全　）　課

事業名	**交通安全対策推進事業**
決算額	6,306千円（市費：6,306千円）
【主な取組】H30年度から 高齢者の運転免許証自主返納促進のため、タクシーチケット　10,000円分の交付を開始。 70歳以上の新規返納者（チケット交付）：112件 うち30年度中使用率　39.7%	

年齢階層	人数	比率
70-74	17	15.2%
75-79	26	23.2%
80-84	41	36.6%
85-89	24	21.4%
90-94	4	3.6%
95-	0	0.0%
	112	100%

2-2.連携施策（H30年度取組内容）

重点戦略プラン 3 “ 市民が主体!! ” コミュニティ活性化プロジェクト	毎週水曜日、健康温泉館水中運動に参加した市民へ、帰りのシャトルバス無料券を交付

3.成果指標

指標名	直近値（H26）	目標値	実績値（H28）	対象事業名	担当課	関係課
収支率20%未満の路線数	25路線	0路線（H32）	H28：25路線 H29：25路線	地域公共交通事業	総合政策課	防災安全課 教育総務課 地域振興課
収支率20%以上の路線について、収支率5%アップ	0路線	2路線（H32）	H28：0路線 H29：0路線 H30：0路線			
無償運送もしくは自家用有償運送等導入検討地	0地区	3地区（H32）	H28：0地区 H29：0地区			
収支率20%以上の路線数	－	32路線（H32）	H28：1路線 H29：1路線 H30：1路線			
年間利用者数	－	45,000人（年間利用）	H28：44,431人 H29：38,506人 H30：39,356人			

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要

重点戦略プラン
3

“市民が主体!!”
コミュニティ活性化プロジェクト

総合計画　重点戦略プラン　14～15頁

1.重点事業

（　総合政策　）　課

事業名	由布コミュニティ(地域の底力再生)事業(重点・総合)
決算額	1,551千円(市費:1,551千円)

【主な取組】
地域課題を把握(挾間　谷地域)
ワークショップ及び地域住民を対象としたアンケート調査を実施。今後は地域ビジョン(振興計画)を策定し、地域課題の解決に向けた取組みを実施していく予定。

（　総合政策　）　課

事業名	地域コミュニティ形成促進事業(重点・総合)
決算額	2,510千円(市費:2,510千円)

【主な取組】
まちづくり協議会活動交付金
　大津留まちづく協議会の各種活動に対して活動・運営に係る費用を交付。この交付金を財源の一部とし、「おおつるマーケット」等の事業を展開。

連携　連携

（各地域振興課）

・由布コミュニティ事業:計画策定の際に現地代表者(自治区長)等との調整、会議支援/事業実施支援
・地域コミュニティ事業:協議会設立にむけた会議支援/事業実施支援
・小規模集落対策事業:事業実施時の助言、支援

連携

2.その他の事業

（　総合政策　）　課

事業名	小規模集落等支援対策事業
決算額	2,361千円(市費:　498千円)

【主な取組】
庄内)大津留地域の地域コミュニティ組織が実施する各種事業の集客率を向上させるため、看板の設置などの整備を行った。本事業により、地域コミュニティ組織の活動の幅が広がり地域活性化に繋がる環境整備が整った。

（　各地域振興　）　課

事業名	地域活力創造事業
決算額	9,319千円(市費:9,319千円)

【主な取組】
各地域内の団体が、自主的に活動を行うための支援制度
挾間　2,947千円　庄内　3921千円　湯布院　2,451千円

3.成果指標

指標名	直近値(H26)	目標値	実績値	対象事業名	担当課	関係課
地域協議会設立	－	5地区(H31末)	H28:1地区 H29:0地区 H30:0地区	地域コミュニティ形成促進事業	総合政策課	地域振興課
地域行事参加者	37.3%	50%(H31末)	－			
連携による事業実施数	－	5件(H31)	H29:0件 H30:0件	由布コミュニティ(地域の底力再生)事業 小規模集落等支援対策事業 地域活力創造事業		
地域ビジョンの作成と実行	－	5地区(H31)	H29:1地区 H30:0地区			
地域振興計画の策定	－	3地区(毎年)	H28:3地区 H29:1地区 H30:0地区	由布コミュニティ(地域の底力再生)事業	総合政策課	地域振興課

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要

重点戦略プラン
4

地域へ飛び出せ！
健康マイレージプロジェクト

総合計画　重点戦略プラン　18～19頁

1.重点事業

（　健康増進　）　課

事業名	健康立市推進事業（重点・総合）
決算額	※3,183千円（市費：3,183千円）

健康マイレージ
10,000ポイント到達応募者数：972名
マイレージ対象事業：35事業
※介護特会で支出分　920千円を含む

由布市商工会
（目標到達者への商品券発行）

（　保　険　）　課

事業名	保健指導事業
決算額	10,369千円(国保会計で実施)

健康マイレージ応募者　972名中
国保資格者　346名に対して、商工会商品券を交付。
その他、健康教室等を実施

ポイント要件

①健康づくり3ヶ月チャレンジ
②健康診査・がん検診
③対象事業への参加
④喫煙の有無
⑤合計10,000ポイント以上

2.関連事業

健康マイレージ対象(実績)事業

事業名	担当課
健康診査・がん検診事業	健康増進課
介護予防事業	健康増進課
シニアエクササイズ各教室	健康増進課
組織活動推進	健康増進課
健康に関する市民講演会	健康増進課
各種健康サロン※	健康増進課

※各種健康サロン（例）
歯周疾患検診・いきいき元気塾・すこやか健康サロン・お茶の間サロン

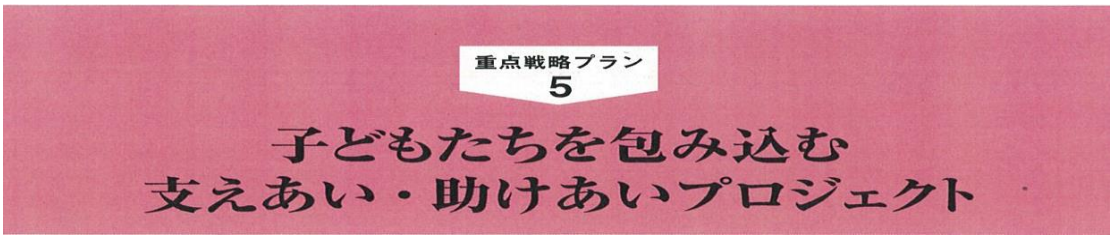
事業名	担当課
公民館教室	社会教育課
おもと大学	社会教育課
各スポーツクラブ	スポーツ振興課
スポーツ交流会	スポーツ振興課
徘徊模擬訓練	福祉課

注）成果指標となる事業数は、上記（予定）事業の実施回数等に応じて確認

3.成果指標

指標名	直近値	目標値	実績値	対象事業名	担当課	関係課
健康マイレージ対象事業数	27事業（H27）	50事業（H32）	H28：36事業 H29：35事業 H30：35事業	健康立市推進事業	健康増進課	各担当課 ※健康マイレージ対象（予定）事業
健康マイレージ応募者数	316名（H26）	1,500名（H32）	H28：629名 H29：813名 H30：972名			
健康づくりリーダー派遣者数	延474名（H26）	700名（H32）	H28：497名 H29：506名 H30：366名			

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要



総合計画　重点戦略プラン　22～23頁

①-1地域子育て支援

（　子育て支援　）　課

事業名	地域子育て支援づくり事業（重点・総合）
決算額	31,086千円（市費：10,587千円）

【主な取組】
①利用者支援事業、②地域子育て支援拠点事業　③母親クラブ事業　④子育て援助活動事業を実施
各事業の詳細は別紙参照

（　子育て支援　）　課

事業名	市民総子育てサポート事業（重点・総合）
決算額	24千円（市費：24千円）

【主な取組】地域子育てサポート事業
H27～H29の間子育てサポーターを養成　計82人
これまでの実績を踏まえ、新規認定については当面休止した。

利便性向上

支援者拡大

事業連携

（　子育て支援　）　課

事業名	子育てほっとクーポン事業（重点・総合）
決算額	3,203千円（市費：1,524千円）

【主な取組】
3歳未満の子どものいる家庭に子育て支援サービスを利用することができる「子育てほっとクーポン」を無料で交付

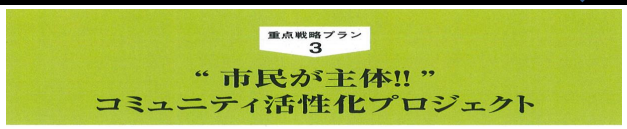
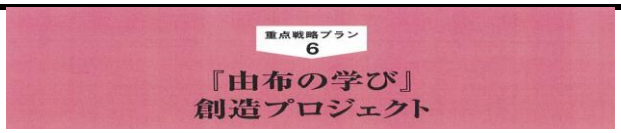
（　健康増進　　）　課

事業名	母子保健推進事業
決算額	32,056千円（市費：29,757千円）

【主な取組】
乳幼児検診：5ヵ月/10ヵ月/1歳6ヶ月/3歳を実施（各回　約90%の参加率）
親子教室（基礎編　概ね3歳以下）：年10回
親子教室（運動編　4歳～就学前）：年　6

政策連携

①-2　連携施策

	子育て活動が活発化することにより、地域コミュニティの充実につなげた。
	子どもたちが、地域で学び健全育成へとつなげるため、各種活動を実施した。

3.成果指標

指標名	直近値	目標値	実績値	対象事業名	担当課	関係課
家族の日を推進	－	年3回	H28：1回 H29：1回 H30：0回	市民総子育てサポート事業	子育て支援課	総務課
子どもの居場所づくり	20施設（H27）	23施設（H32時点）	H28：21施設 H29：21施設 H30：22施設	地域子育て支援づくり事業 児童健全育成事業		建設課 健康増進課
子育てサポーターの養成	－	50人（H32時点）	H28：70人 H29：82人 H30：82人	市民総子育てサポート事業 地域子育て支援づくり事業		

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要

重点戦略プラン
5

子どもたちを包み込む
支えあい・助けあいプロジェクト

総合計画　重点戦略プラン　22～23頁

②子どもの居場所づくり

（　子育て支援　）　課

事業名	**保育所活動推進事業**（重点・総合）
決算額	1,251,570千円（市費：348,897千円）

【主な取組】
保護者の就労や疾病等により、子どもを保育する事が出来ない家庭が、就学前児童を預ける事業

（　子育て支援　）　課

事業名	**児童健全育成事業**（重点・総合）
決算額	101,101千円（市費：38,464千円）

【主な取組】
放課後児童クラブ（15団体）及び児童館事業（宮田保育園・ひばり保育園）への運営を委託。

連携

公園の管理

（　子育て支援　）　課

事業名	**病児・病後児保育事業**（重点・総合）
決算額	9,697千円（市費：3,253千円）

【主な取組】
病院・保育所等の専用スペースで病児・病後児・体調不良児の一時的な保育を実施

（　建設　　）　課

事業名	**都市公園等管理事業**
決算額	16,218千円（市費：16,170千円）

【主な取組】
遊具点検等：市が管理する公園45箇所にある、不良遊具を修繕
その他、公園内設備（フェンス等）の修繕と共に、浄化槽等の管理を実施した。

（　健康増進　　）　課

事業名	**5歳児健康診査事業**
決算額	1,285千円（市費：1,285千円）

【主な取組】
対象者281人中　受診者　265人　94.3%
施設巡回：市内15幼稚園・保育所
地元医診察：市内3会場　9回
専門医診察：市内3会場　10回

（　健康増進　　）　課

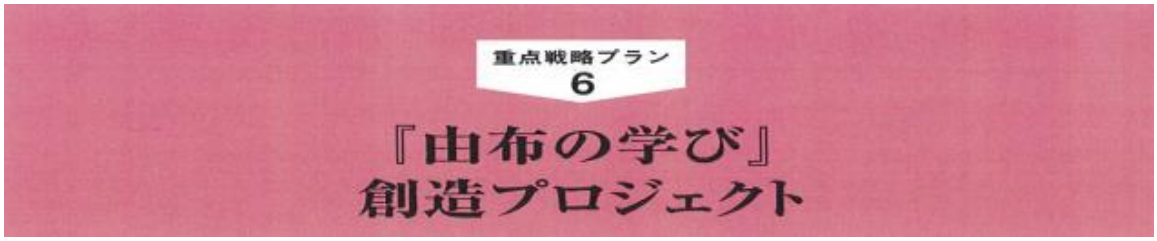
事業名	**予防接種推進事業**
決算額	96,780千円（市費：96,780千円）

【主な取組】
高齢者肺炎球菌　　：1,120人接種　45.0%
高齢者インフルエンザ：6,424人　　56.0%
おたふく　　：242人　　90.6%
ほか、ロタウィルス・BCG・日本脳炎・風疹等

3.成果指標

指標名	直近値	目標値	実績値	対象事業名	担当課	関係課
家族の日を推進	－	年3回	H28：1回 H29：1回 H30：0回	市民総子育てサポート事業	子育て支援課	総務課
子どもの居場所づくり	20施設 （H27）	23施設 （H32時点）	H28：21施設 H29：21施設 H30：22施設	地域子育て支援づくり事業 児童健全育成事業		建設課 健康増進課
子育てサポーターの養成	－	50人 （H32時点）	H28：70人 H29：82人 H30：82人	市民総子育てサポート事業 地域子育て支援づくり事業		

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要



総合計画　重点戦略プラン　26～27頁

1．学校づくり関連事業

（　学校教育　）　課

事業名	**地域と協働する学校づくり推進事業**（重点・総合）
決算額	59千円（市費：　59千円）
【主な取組】 コミュニティスクールの導入により、学習サポーターや登下校の見守り等、学校と地域の活性化を図った。	

（　学校教育　）　課

事業名	**学校子ども支援センター事業**（重点）
決算額	11,702千円（市費：11,702千円）
【主な取組】 学校で問題行動を起こす児童・生徒の背景を探り、学校では抱えきれない本人や家庭へのサポートや専門機関との連携を図った。	

（　学校教育　）　課

事業名	**特別支援事業**（重点）
決算額	206千円（市費：　206千円）
【主な取組】 特別に支援が必要な園児・児童・生徒に対し、発達検査を行い、支援ファイルの提供を行った。	

（　学校教育　）　課

事業名	**連携型中高一貫教育推進事業**（重点）
決算額	16,517千円（市費：16,517千円）
【主な取組】 由布市内から由布高校への入学者増加を目指し、広く、市民への情報発信を行った。	

（　学校教育　）　課

事業名	**小学校教育指導事業**（重点）
決算額	728千円（市費：　728千円）
【主な取組】 地域の方を招いて話を伺ったり、一緒に活動を行うことにより、働く人の苦労や工夫・よろこび等を感じてもらい、発表をしてもらいました。	

＝

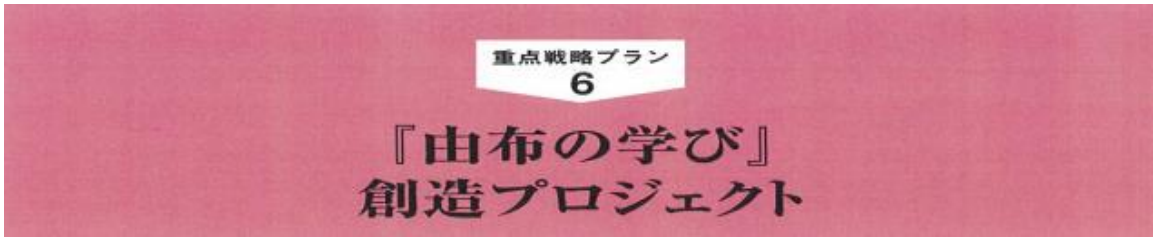
（　学校教育　）　課

事業名	**中学校教育指導事業**（重点・総合）
決算額	361千円（市費：361千円）
【主な取組】 職場訪問・職場体験を通じ、地域に生きる一人として、地域の人々とコミュニケーションを行ったり、学校では育成できない社会人としての資質向上を図った。	

3.成果指標

指標名	直近値	目標値	実績値	対象事業名	担当課	関係課
コミュニティスクール設置校数	4校 （H27）	14校 （H31）	H28：8校 H29：11校 H30：14校	地域と協働する学校づくり推進事業	学校教育課	
「子ども由布の学び検定」の実施	－	30 （H32）	H28：0人 H29：0人 H30：9人	文化財活用促進事業（小・中学校教育指導事業）	社会教育課（学校教育課）	
読み聞かせを実施している家庭の割合	81.4% （H26）	90% （H32）	－	読書活動推進事業		
生徒（中学3年生）1人当たりの学校図書　貸出冊数	－	20冊	H29:17冊 H30：21冊			
公立図書館貸出冊数	－	160,000冊	H28：160,267 H29：156,545 H30：162,149			
家庭教育支援講座　受講数	85人 （H26）	135人 （H32）	H28：124人 H29：　99人 H30：89人	地域協育推進事業		
地域人材派遣数	564人 （H26）	600人 （H32）	H28：658人 H29：662人 H30：732人	地域協育推進事業（小・中学校教育指導事業）		

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要



総合計画　重点戦略プラン　26～27頁

2. 家庭・地域づくり/郷土学習関連事業

（　社会教育　）　課

事業名	**地域協育推進事業**（重点・総合）
決算額	8,946千円（市費：4,898千円）

【主な取組】
学校・家庭・地域社会が協働して、子どもたちを見守り育てていくためのネットワーク強化を推進した。
（校区ネットワークの連携における支援活動）

（　社会教育　）　課

事業名	**文化財活用促進事業**（重点・総合）
決算額	1,829千円（市費：1,829千円）

【主な取組】
由布市歴史文化基本構想の策定と「こども由布の学び検定」を実施し、由布市の自然・歴史・地域文化を学び故郷を誇りに思う心情の育成を図った。

（　社会教育　）　課

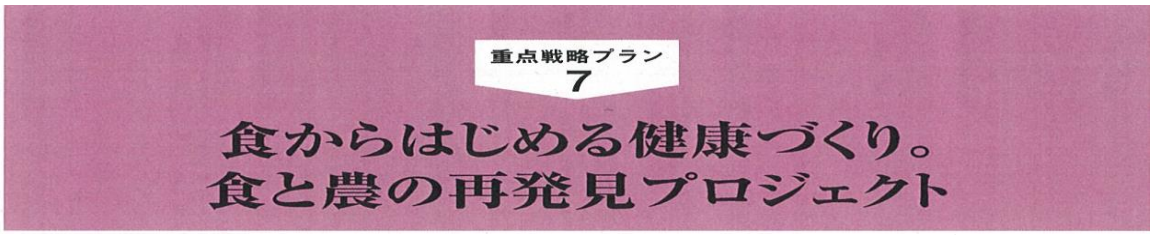
事業名	**読書活動推進事業**（重点・総合）
決算額	407千円（市費：　407千円）

【主な取組】
・各種団体、ボランティアグループ等の図書館内での読み聞かせ活動の実施
・児童文化研究会と連携し、児童文化祭を実施した。

3.成果指標

指標名	直近値	目標値	実績値	対象事業名	担当課	関係課
コミュニティスクール設置校数	4校（H27）	14校（H31）	H28：8校 H29：11校 H30：14校	地域と協働する学校づくり推進事業	学校教育課	
「子ども由布の学び検定」の実施	－	30（H32）	H28：0人 H29：0人 H30：9人	文化財活用促進事業（小・中学校教育指導事業）	社会教育課（学校教育課）	
読み聞かせを実施している家庭の割合	81.4%（H26）	90%（H32）	－	読書活動推進事業		
生徒（中学3年生）1人当たりの学校図書　貸出冊数	－	20冊	H29:17冊 H30：21冊			
公立図書館貸出冊数	－	160,000冊	H28：160,267 H29：156,545 H30：162,149			
家庭教育支援講座　受講数	85人（H26）	135人（H32）	H28：124人 H29：　99人 H30：89人	地域協育推進事業		
地域人材派遣数	564人（H26）	600人（H32）	H28：658人 H29：662人 H30：732人	地域協育推進事業（小・中学校教育指導事業）		

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要



総合計画　重点戦略プラン　30～31頁

1.重点事業

（　農政　）　課

事業名	**地産地消推進事業**（重点・総合）
決算額	2,654千円（市費：835千円）

【主な取組】
学校給食で多く使用される農産物（人参・じゃがいも等4品目）を、農業者や農業者組織等に対して支援を実施した。

（　学校教育　）　課

事業名	学校給食費
決算額	115,678千円（市費：千円）

【主な取組】
給食センター運営費
（給食数１日平均　3,150食×200日＝63万食
（地産地消率）　21%

地元農産品使用促

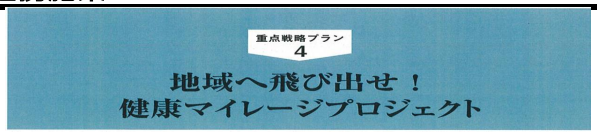
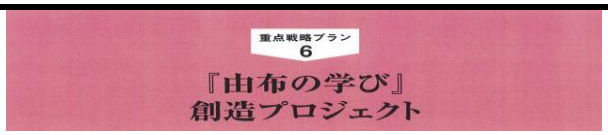
施策連携

（　農政　）　課

事業名	**特産品ブランド化推進事業**（重点・総合）
決算額	3,037千円（市費：3,037千円）

【主な取組】
特産品PR連絡会へ運営負担金を支出し、生産者・商工会等とともに、農業と商工業、観光業をつなぐ活動を実施した。

2.連携施策

	地産地消活動を通じて、生産者・消費者共に健康な食事への意識を醸成
	児童・生徒に地元産農産物の美味しさや、生産者～加工・観光へと繋がる仕組みを、給食を通じて学び、継承者となるよう取り組みを進めている。

3.成果指標

指標名	直近値	目標値	実績値	対象事業名	担当課	関係課
行事参加者数	－	延1,000人（H32）	－	地産地消推進事業	農政課	学校教育課等
市内農産物使用率	20.7%（H26）	30%（H32）	H28：20% H29：20% H30：21%			
市内産食材への愛着度	－	50%（H32）	－			
市内農産物使用率（金額ベース）	21%（H26）	30%（H32）	H28：20% H29：20% H30：21%			

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要

総合計画　重点戦略プラン　34～35頁

1.重点事業

（　農政　）　課

事業名	就農支援事業（重点・総合）
決算額	30,700千円（市費：7,678千円）

【主な取組】
新規就農者支援事業補助金をはじめ、農業大学等就学補助により、新規就農を臨む方への支援制度を設けている。また営農指導員を配置し、個別相談にも対応している。

（　商工観光　）　課

事業名	商工振興活性化事業（総合）
決算額	20,341千円（市費：20,337千円）

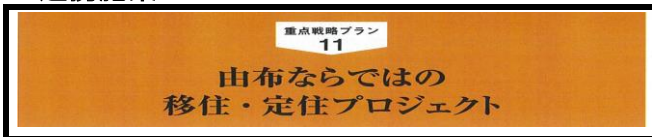
【主な取組】
商工会への補助や、商店街賑わい創出支援事業の実施に加え、創業支援補助制度をH29年度から開始した。
市内業者間の交流会「異業種交流会」をH30.10.31日開催　1部：86名　2部：67名参

施策連携

新規就農者支援事業補助金（概要）	創業支援事業補助金（概要）
【対象者】 由布市内で新たに就農する者又は就農するため研修を受ける者 【補助額・対象経費】 2万5千円～150万円（家賃・就学費用・就農準備・就農後経営安定化） 【審査】 書類審査・面談・現地確認	【対象者】 個人事業主として、由布市内に事業所を置き、住所を有する者 【補助額・対象経費】 100万円（賃借料・整備費・登記費・販売促進） 【審査】 書類審査・プレゼン審査

施策連携

2.連携施策



移住者で、創業を希望する方への支援制度として説明。移住者で「カフェ等」の創業を希望する声が多い

3.成果指標

指標名	直近値	目標値	実績値	対象事業名	担当課	関係課
異業種交流会の開催数	－	年5回	－	（指定なし）	農政課 商工観光課	総合政策課 地域振興課
就労・就農相談件数	年3件	年30件	就農 H28：30件 H29：35件 H30：36件	就農支援事業 商工振興活性化事業	農政課 商工観光課	
由布市内新規就労者数	年5人	年25人	創業補助金支給 H29：3件 H30：5件	商工振興活性化事業	商工観光課	
研修先となる先進農家数	3軒 （H27）	20軒 （H32時点）	H29：6軒 H30：6軒	就農支援事業	農政課	
新規就農者数	－	年10人	H28：11人 H29：　7人 H30：　8人	就農支援事業	農政課	
就農研修生	－	年3人	H28：3人 H29：2人 H30：2人			

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要

重点戦略プラン 9

滞在型・循環型保養温泉地実現プロジェクト

総合計画　重点戦略プラン　38～39頁

1.重点事業

（　商工観光　）　課

事業名	**観光振興事業**（重点・総合）
決算額	61,897千円（市費：50,925千円）

【主な取組】
※地方創生関係交付金評価調書参照
各地域の観光協会やまちづくり観光局と連携し、観光業の震災復興事業（別枠予算）等に取り組んだ。

⇔

（　商工観光　）　課

事業名	**観光基盤整備事業**（重点・総合）
決算額	64,651千円（市費：2,051千円）

【主な取組】
由布院駅周辺の道路改良工事とそれに伴う、交通体系の変更等を実施。歩行者と自動車の混雑を緩和させ、地域住民及び観光客が安心して活用のできる駅前空間の確立を図った。

各観光協会 6団体	由布市観光協会・由布院温泉観光協会・湯平温泉観光協会・塚原高原観光協会・庄内町観光協会・はさま由布川峡谷観光協会のそれぞれにより、各地域の魅力発信に努める。	各地域振興課が業務協力
まちづくり観光局	市及び観光協会それぞれが課題となっていた活動を担い、総合的に由布市の魅力を発信・都市部へのマーケティング活動等を行う。 H30年度から、TIC完成にともない施設の管理を行いつつ、有効活用を図る。	

2.連携施策

重点戦略プラン 12 地域プロモーション推進プロジェクト	観光振興を通じて、地域の魅力発信に努めた。
重点戦略プラン 13 ゆふツーリズム推進プロジェクト	新たな観光スタイル（農泊等）への推進や、まちづくり観光局で観光分析により、効果的な商品開発を図っている。

3.成果指標

指標名	直近値	目標値	実績値	対象事業名	担当課	関係課
平均滞在日数	1.10日 （H26）	1.13日以上 （H32）	H28：0.96日 H29：1.02日	観光振興事業	商工観光課	地域振興課
年間宿泊客数	75.0万人 （H26）	77.1万人 （H32）	H28：68.6万人 H29：80.6万人 H30：98.3万人			
観光交流者 （年間観光客数）	390万人 （H26）	400万人 （H31）	H28：363万人 H29：386万人 H30：442万人			
観光消費額	－	14,200百万円	H28：12,922百万円 H29：13,308百万円 H30：15,641百万円			
TIC利用者数 ※電話対応含む	－		H30：10.8万人			

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要

重点戦略プラン
10

民官学の協働による豊かな水環境創出プロジェクト

総合計画　重点戦略プラン　42～43頁

1.重点事業

（　環境　）　課

事業名	**豊かな水環境創出事業**（重点）
決算額	300千円（市費：　300千円）

【主な取組】
調査研究数　2（豊水会:オオセキショウモ駆除・川談義）　モデル事業　1（豊水会:オオセキショウモ駆除）　参加者　154名（オオセキショウモ129名、川談義25名）

（　環境　）　課

事業名	**河川水質再生・保全事業**（重点）
決算額	497千円（市費：497千円）

【主な取組】
市内の自然環境（河川）・生態状況等把握するため水質検査を年2回実施（調査地点　12地点　挟間　3・庄内3・湯布院6地点）

（　環境　）　課

事業名	**環境活動推進事業**（重点）
決算額	598千円（市費：598千円）

【主な取組】
ボランティア袋の配布：清掃活動　8団体
環境学習：挟間中学校1（豊水会）　由布院小学校1
ゆふいんラヂオ局による啓発　3回　・地球温暖化対策地域協議会活動　11回・イベント：環境講演会・レジ袋削減街頭啓発　計　606名参加

2.その他の事業

（　水道　）　課

事業名	上水道・簡易水道管理事業
決算額	113,700千円※一般会計措置分

【主な取組】
上水道・簡易水道事業を運営するため、各種施設整備や水源・水質調査等

（　建設　）　課

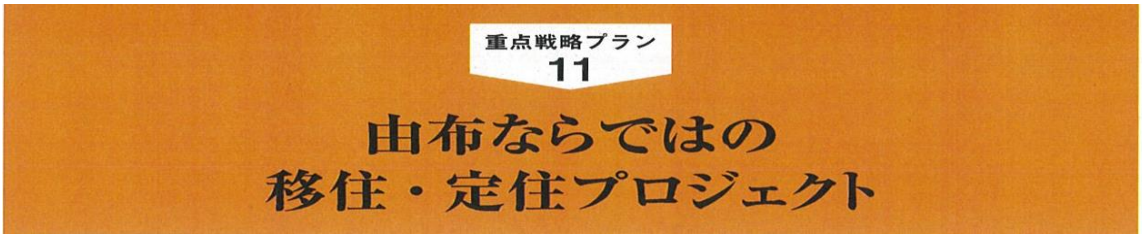
事業名	河川総務費
決算額	3,515千円（市費：2,515千円）

【主な取組】
河川（大分川）周辺の環境整備（除草作業）を関係する自治区へ委託。また若杉ダム（湯布院）の管理を実施。防災（治水）対策と兼て、水環境の保全対策を図った。

3.成果指標

指標名	直近値	目標値	実績値	対象事業名	担当課	関係課
調査研究件数	1件（H26）	5件（H32）	H28：1件 H29：2件 H30：2件	豊かな水環境創出事業 河川水質再生・保全事業	環境課	
環境学習会等開催数	10回（H26）	30回（H32）	H29：24回 H30：26回			水道課等
モデル事業数	－	3事業（H32）	H28：1事業 H29：1事業 H30:1事業			
上記3つの取り組みへ担い手として参加した市民の数	延20人（H26）	延100人（H32）	H28：400人 H29：374人 H30:154人			

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要



総合計画　重点戦略プラン　46～47頁

1.重点事業

（　総合政策　　）　課

事業名	**由布市に住みたい事業**（重点・総合）
決算額	10,020千円（市費：8,446千円）

【主な取組】
空き家バンクでの契約成立数：14件（38人）
地域別居住者：挾間2・庄内28・湯布院8
仲介手数料補助金：20件・リフォーム補助金：14件該当

連携

連絡調

（　総合政策　　）　課

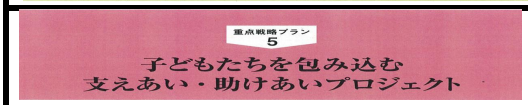
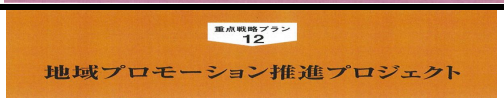
事業名	**UIJターン推進事業**（重点・総合）
決算額	2,889千円（市費：1,809千円）

【主な取組】
①県外での移住相談会の実施：7回（福岡県・東京都）　②移住体験ツアーの実施：4回
【市主催】11月：4組　【県主催】6・12・2月
③移住者交流会を実施

（各地域振興課）

・空き家　登録/利用申込み　の受付　・空き家見学の連絡調整/現地対応
・リフォーム等補助金申請の受付/実績の確認　　etc

2.連携施策（H29年度取組内容）

	地域の活動を促進するために、移住者が積極的参加するよう呼び掛け。空き家情報の提供呼びかけ（市報）
	移住相談会等において、子育て世代の方には「由布市での子育て環境」をPR⇒子ども医療費で県外からの移住者を把握（47人）
	移住体験ツアー等で、就農・起業等の制度説明や体験を通じて市内の「しごと」をPR
	移住促進に向けた、市内の魅力発信と併せた取り組み ⇒庄内神楽体験を移住体験に盛り込み

3.成果指標

指標名	直近値	目標値	実績値	対象事業名	担当課	関係課
人口動態における社会動態の推移数※毎年度末時点	△115人（H26）	△50人（H32）	H28：△77人 H29：△92人 H30：46人	UIJターン推進事業	総合政策課	
空き家バンク利用登録者数	–	200件（H32）	H28：232件 H29：292件 H30:341件	由布市に住みたい事業		地域振興課
移住コンシェルジュ人数	1人（H27）	2人（H32）	H28：1人 H29：1人 H30:1人	UIJターン推進事業		
空き家バンク新規登録件数	年24件（H26）	年30件（H31）	H28：25件 H29：22件 H30:29件	由布市に住みたい事業		
移住・定住施策を活用した移住定住者数	年35人（H26）	年45人（H31）	H28：51人 H29：41人 H30:38人			

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要

重点戦略プラン 12

地域プロモーション推進プロジェクト

総合計画　重点戦略プラン　50～51頁

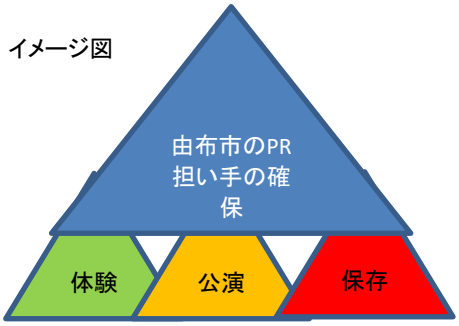
1.重点事業

（　庄内地域振興　）課

事業名	**庄内神楽伝統継承事業**（総合）
決算額	20,969千円（市費：　10,485千円）

【主な取組】
※地方創生関係交付金評価調書参照
神楽継承のため、記録保存や体験事業や海外留学生との交流会等を通じて、庄内神楽の魅力の発信と担い手育成に努めた。

イメージ図



（　商工観光　）課

事業名	**インバウンド受入環境整備事業**（総合）
決算額	656千円（市費：656千円）

【主な取組】
増加する、訪日外国人旅行者に対する誘客推進を実施。外国人向けパンフレットの作成や、インバウンド商談会に参加した。

2. 連携施策

重点戦略プラン 9 滞在型・循環型保養温泉地実現プロジェクト	由布市の魅力を、国内外にPRする活動を通じて、1日でも多く滞在してもらうように推進した。

3.成果指標

指標名	直近値	目標値	実績値	対象事業名	担当課	関係課
地域の魅力を再発見・共有するイベントの開催	－	年5回	－	（指定なし）	－	－
国内向けの戦略的プロモーションの試行回数	－	年延2回	H29：3回 H30：3回	観光振興事業	商工観光課	総合政策課等
国外向けの戦略的プロモーションの試行回数	－	年延2回	H29：2回 H30：1回	インバウンド受入環境整備事業		
神楽イベント参加者数	－	7,000人 （H30）	H28：6,344人 H29：7,900人 H30:11,680人	庄内神楽伝統継承事業	庄内地域振興課	商工観光課

平成30年度　重点戦略プラン　実績概要

重点戦略プラン 13

ゆふツーリズム推進プロジェクト

総合計画　重点戦略プラン　54～55頁

1.重点事業

（ 農政 ）　　課

事業名	都市農村交流推進事業（重点・総合）
決算額	3,521千円（市費：3,521千円）

【主な取組】
由布市グリーンツーリズム研究会（農泊農家）を中心として、都市と農村の交流を推進した。中学・高校の修学旅行等の受入のため、誘致活動や他事業との連携を図った。

（ 総合政策 ）　　課

事業名	クアオルト推進事業（総合）
決算額	1,476千円（市費：1,476千円）

【主な取組】
滞在型保養温泉地構想の再構築に向けて、全国の自治体（日本クアオルト協議会7市3町）と情報交換・連携について、協議を実施
市内では、ウォーキング等を実施。

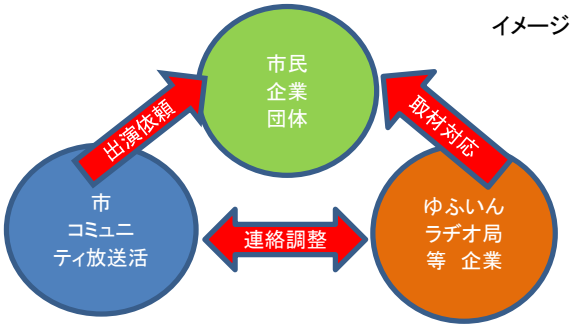
2-1　その他の事業（市民の地域表現力向上）

（ 総務 ）　　課

事業名	広報広聴事業
決算額	13,968千円（市費：13,968千円）

【主な取組】
ゆふいんラヂオ局で「やっぱり由布市がいいね！」の番組（毎月2回放送　各30分）を運営し、市民自らが、地域の魅力を発信する事を行った。また市報・HP・メディア等の媒体を通じ、市民や市外への情報発信を行った。

イメージ図



2-2　連携施策

重点戦略プラン 9 滞在型・循環型保養温泉地実現プロジェクト	観光（振興・基盤整備）事業と併せて、新たなツーリズム（商品）開発に向けて協議した。
重点戦略プラン 12 地域プロモーション推進プロジェクト	「庄内神楽伝統継承事業」や「移住定住事業」と連携し、農泊・神楽体験等・移住促進に向けて取組んだ。

3.成果指標

指標名	直近値	目標値	実績値	対象事業名	担当課	関係課
企画、実施したツーリズムの新規メニュー数	－	20件（H32）	H28：3件 H29：　件 H30：　件	（H28年度実績値は「観光振興事業」で把握）	－	－
企画、実施に参加した市民の数	－	延20人（H32）	H28：30人 H29：　人 H30：　人			
市民や企業向け講座の受講者数	－	延100人（H32）	H28：300人 H29：　人 H30：　人			
受入農家数（研究会員数）	－	40人（H32）	H28：27人 H29：32人 H30：41人	都市農村交流推進事業	農政課	－
農泊及び体験者数	－	3,500人（H32）	H28：1,373人 H29：1,686人 H30：2,176人			
市内学生農泊体験者数	－	25人（H32）	H28：16人 H29：20人 H30：22人			